

圧力調整弁メンテナンス要領

1.準備する物

シリコングリースメイト(金属ノズルφ 1.0)

- ※1.圧力調整弁の空気穴からグリースを注入する為ノズルが太いと差し込むことが出来ません。
- ※2.噴射後シリコングリースが固まるタイプを使用して下さい。液状タイプを使用するとすぐに水で洗い流されて効果が期待できません。



写真1.2 KURE シリコングリースメイト(金属ノズルφ 1.0)

2.グリース塗布の前に

グリース塗布の前に給水栓を閉め、電磁弁(手動ロック)で**水抜き(圧抜き)**を行ってください。水抜き(圧抜き)をしないでグリース塗布を行っても圧力調整弁の**稼動部に十分にグリースが付着しません**。

3.グリース塗布



写真3. ノズル差込状況

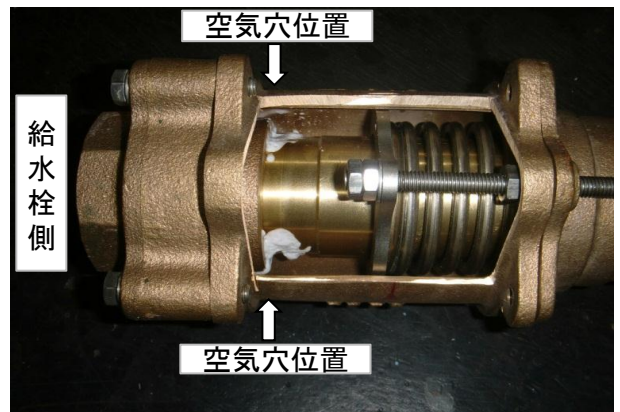


写真4-1. 噴射後の圧力調整弁内部の状況

写真3のように圧力調整弁には空気穴があります(反対側にもう1箇所あります)。空気穴にノズルを給水栓側に少し傾けて差し込み、噴射角度を変えながら3回程度瞬間噴射します。

写真4-1は圧力調整弁のカットサンプルです。この写真のように噴射後は二箇所の空気穴を中心としてシリコングリースが広範囲に付着します。

※使用するシリコングリースのメーカーが違っていたり種類によっては時間当たりの噴射量が若干異なり、

4.グリース塗布の後に



写真4-2. 噴射後の圧力調整弁内部の状況



写真4-3. 噴射後の圧力調整弁内部の状況

写真4-2・3はグリース塗布後のピストンとリングの状況です。噴射しただけでは写真のようにピストンとリングの接地面にグリースがなじんでいない状態なので、「噴射塗布後に給水栓を開き、給水装置に水を張ります。さらに給水栓を閉め電磁弁を開ける」この操作を**数回繰返す**ことにより、ピストンを動かし、グリースを満遍なくなじませて作業が完了になります。

◎以上の作業を防霜シーズンの前に必ず行って下さい!!